

# Rotary Club of AMA weekly report.



2018~2019年度 国際ロータリーテーマ  
**インスピレーションに  
なろう**

事務所 〒453-0015 名古屋市千代田区椿町17番16号 丸元ビル  
TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2018-2019年度  
RI会長 バリー・ラシン  
第2760地区ガバナー 村井 総一郎  
会長 大竹 敬一  
副会長 家田 安啓  
幹事 加藤 徹

例会日 毎週月曜  
例会場 名鉄グランドホテル

【会報委員会】  
委員長 山田 広明・神戸 剛  
伊藤 英毅・山田 幸治

## 2018年7月23日（晴れ） 第3週 第2242回例会

**Song** ”我等の生業”  
**Visitor** 宇田幸生君・平野弘康君（尾張中央RC）、  
柴田伸彦君（津島RC）  
ガラ君（モンゴル・フレールRC）

### Attendance

会員	78名	欠席	9名	出席率	86.15%
----	-----	----	----	-----	--------

**President Time** 大竹敬一 会長



テレビや新聞で、連日記録的な猛暑や熱中症のニュースが報じられています。今日の名古屋も39度を超す暑さが予想されています。思えば先々週の豪雨の直後から、10日以上この暑さは続いており、「命に係わる暑さ」と表現されるようにお年寄りなどの被害者も連日出ております。水分をとる、屋外での不要不急の活動を控える、エアコンを惜しまないなど、報道で言われている月並みなお願いですが、皆さんもくれぐれもご注意をいただきたいと思います。また、先回の例会でお話しした西日本の豪雨災害については、地区で義援金を贈ることになりました。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本日の例会は、先月末にトロントで開催されたロータリークラブ国際大会のご報告をいただきます。大会が年度の終盤に行われたため、山田尊久直前会長はじめ参加された皆様には、ご報告を今日まで待たせてしまって申し訳ありませんでした。今日は国際大会について、少しお話をしたいと思います。RI国際大会は、毎年5月くらいに世界の各都市で開催されていますが、私の知る限りあまRCからは、毎年何人かがご参加いただいています。特に真木パスト会長は、ほぼ皆勤に近いご参加だと思えますし、大竹和美パスト会長からも国際大会の事はよく聞いておりました。国際大会に参加するクラブはそんなに多いわけではないと思いますが、あまRCとしては、積極的に国際大会に参加するという伝統を持っていると思います。私自身は、入会してからバンコク、シドニー、ソウルと3回参加させていただきました。大会では開会式などに参加する程度ですが、国際ロータリーの空気を感じることが出来る機会ですし、何より何人かの会員と海外旅行を共にすることは、いい経験だと思います。来年のドイツ・ハンブルグでの大会にも多くのご参加をお願いします。

<b>Today</b>	7月30日（第2243回）
担当	伊藤正征 プログラム委員長
演題	卓話 「記者襲撃 赤報隊事件30年目の真実」 元朝日新聞社 樋田 毅氏
<b>Next Week</b>	8月 6日（第2244回）
担当	山田尊久 会員増強委員長
演題	クラブフォーラム

会員増強委員会

もう1点のお願いです。村井ガバナーの方針で今年は入会3年以内の会員に分区内の他クラブへの例会参加をスポンサー会員としていただく事になっています。東海ロータリー情報委員長にスケジュール調整をお願いしております。50年度の活動指針の中にもホーム例会の出席はもとより、他クラブ例会へのご参加をお勧めしており、この点でも積極的なご協力をお願いします。本日は、お願いばかりに終始しましたが、どうかよろしく願いいたします

## Secretary Report

加藤 徹 幹事

- 1 児玉憲之君に第4回米山功労者感謝状が参りました。
- 2 黒野晃太郎君に第8回米山功労者感謝状が参りました。



通算35年間皆出席賞 酒井和雄君



通算30年間皆出席賞 加藤憲治君



通算20年間皆出席賞 高山 敏君

## 2017～18年度出席賞



通算45年間皆出席賞 後藤袈裟美君



通算15年間皆出席賞 後藤 眞君、東海広光君



通算10年間皆出席賞 中島英之君、大竹敬一君



通算5年間皆出席賞

中西 巧君、大西晃弘君、山本輝幸君



年間最多出席賞

1位 児玉君（135%）、2位 藤田隆志君（133%）

3位 田邊君（128%）



年間ホームクラブ皆出席賞 田邊君、山田尊久君、横井君

### 年間100%以上出席

青本君 藤田（淳）君 藤田（隆）君 舩原君  
 後藤（袈）君 後藤（眞）君 家田君 今西君 稲垣君  
 板津君 伊藤（正）君 神野君 神田君 加藤（文）君  
 加藤（春）君 加藤（憲）君 加藤（徹）君 河村君  
 児玉君 栗木君 黒川君 前田（由）君 松井君 三木君  
 宮下君 水野君 武藤君 中島君 中西君 西川君  
 大西君 大竹（敬）君 酒井君 篠田（耕）君  
 鈴木（和）君 鈴木君 高山君 竹田君 田邊君  
 田中（正）君 谷川君 東海君 臼井君 宇津山君  
 山田（広）君 山田（幹）君 山田（尊）君 山本君  
 横井君 吉田君

## ニ コ ボ ッ ク ス

ご投函有り難うございます

大竹敬一 会長

トロント国際大会報告、よろしくお願ひします。  
 モンゴル・フレールRCのガラさん、ようこそ例会にお  
 越し下さいました。歓迎します。

家田安啓 副会長

皆様、暑さに十分気を付けてください。

加藤 徹 幹事

先週、社内の技術アイデアコンテストがありました。  
 入賞作の1つに「女性向け現場作業着の製作」という  
 アイデアがありました。建設業では本格的な女性活躍  
 社会を迎えてきましたが、現場作業着はこれまで男性  
 用の小さめを着ていました。確かに体型が違う男女。

スタイリッシュに着こなすにはとても大切なことだと、  
目から鱗でした。早速製作開始します。

藤田隆志君

本日、国際大会報告させていただきます。よろしくお  
願いいたします。

後藤 眞君

何とか15年皆出席させていただきました。皆様のご縁  
を心より感謝いたします。今後ともよろしくお願いい  
たします。

山田尊久君

カナダ・トロント国際大会の報告、楽しみにしていま  
した。藤田隆志君、最後まで本当にご苦労様でした。  
青森・酸ヶ湯温泉の宿、中廊下のさしむ音を聞きなが  
ら歩く風情の心地よさ、ふな林の美味しい空気の中を  
走るバス、十和田湖の自然の豊かさに感動。田邊君、  
理事会の旅企画有り難う。

船原久尚君

先週、日本百名山の1つ、金峰山を登頂してきました。  
雄大な景色に感動！しかし、体力の衰えから、人の倍  
かかって登ってきました。あ～疲れた。

黒野晃太郎君

暑中お見舞い申し上げます。  
野田先生のお嬢さん枝里さんのヴァイオリンの音色に  
聞き惚れて。

田邊正紀君

本日は昨年度の国際大会報告です。藤田隆志君、よろ  
しくお願ひします。  
理事会参加の皆様、有り難うございました。  
加藤徹君、大西君、ボトル更新しました。

板津和博君

役員・理事打ち上げ旅行に参加の皆様、お疲れ様でし  
た。2日間飲みっぱなしでしたがとても楽しかったで  
す。初めての打ち上げ旅行でしたが、皆様に大変お世  
話になりました。有り難うございました。

伊藤正征君

猛暑が続きますので、22日の日曜の会を中止といたし  
ます。次回ゴルフ部会荘川遠征のお知らせ。8月21日  
(火)～22日(水)涼しいであろう荘川にてラウンド  
しましょう。出欠報告はお早めに事務局へお願ひしま  
す。

河瀬文一君

ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

北野庸夫君

昨日、ゴルフに行きました。猛烈な暑さのため、ハー  
フにてギブアップしました。

黒川元則君

後藤眞君、先日はお世話になり、有り難うございま  
した。  
理事会打ち上げ参加の皆様、有り難うございました。  
フレールRCのガラさん、ようこそ。

水野 眞君

今日は大暑です。暑さにご注意して下さい。私はばて  
てますが。

中澤浩一君

酷暑お見舞い申し上げます。

酒井和雄君

35年皆出席、健康に有り難う。

田中正博君

山田尊久年度打ち上げ会、有り難うございました。  
今日、藤田隆志前国際奉仕委員長、国際大会報告楽し  
みにしています。

山田幹夫君

昨日、名古屋の猛暑を避け、高校の同級生と深秋駒ヶ  
岳登山を目指しました。しかしロープウェイを降りて  
30分でダウン。つくづく年令の限界を感じた1日です  
た。

合 計 180,000円

## 国 際 大 会 報 告

藤田隆志 前国際奉仕委員長

前年度の国際奉仕委員長を仰せつかっておりました藤田  
です。先月末に、ロータリー国際大会参加の為、カナダ国  
トロントへ行って参りました。通常ですと、6月の初旬位  
に開催なのですが、会場の都合で月末(24日)の開会式と  
なりました。この為、ご報告も今年度に持越しとなり、大  
竹敬一会長・加藤徹幹事はじめ、皆様のご厚意でお時間を  
頂きました。有難うございます。



まず、トロントについて簡単にご紹介いたします。北アメリカ大陸の五大湖のひとつ、オンタリオ湖畔にあるカナダ最大の都市です。人口260万人。都市圏人口は、北米ではNY・LA・シカゴに次ぐ大都市になります。気候は、緯度が北海道と同じくらいなので、冬は最高気温が氷点下10度以下になることもあります。逆に夏は、大きな湖のほりなので湿度が多く、大変蒸し暑いそうです。カナダの金融の中心であると共に、自動車産業も周辺に集積しており、その縁で隣町は刈谷市と姉妹都市です。また、移民が大変多く、人種のモザイクと言われているそうです。白人は50%、イタリア人、ギリシャ人、インド人、中国人、等々それぞれが、固まって暮らしています。カナダは、国土が日本の26倍、逆に人口は4分の1なので移民を積極的に受け入れています。でも治安は悪くないし、私の肌感覚ですが、差別や格差がアメリカ程ギスギスしていない感じです。

それでは出発からほぼ時系列でご報告します。参加者は、山田前会長、真木前副会長ご夫妻、田邊前幹事、児玉会員、神戸会員、小生の7名。6月23日（土）にセントレアを出発して12時間半、アメリカ・デトロイトで乗換えました。アメリカ入国審査は、全て機械のタッチパネルで行い、税関申告書等紙への記入は一切ありません。その場で指紋も顔写真も取られます。ただ指紋認証は精度が悪く、時間がかかりました。日本の機械警備でも同じですが、技術的にまだまだです。またデトロイト空港は、コンコースの上にモノレールのような電車が走っていました。それから、デルタ航空のプレミアムエコノミー席は、幅は普通のエコノミー同寸法で、狭かったです。空港からタクシーで約40分、宿泊先のシェラトンホテルには夜10時半頃到着。ホテル内には、ロータリー国際大会の看板や風船オブジェで歓迎されました。

さて、トロント1日目です。前日が遅かったのにもかか

わらず、朝6:30にロビーに集合。徒歩15分かけて、ハイアット・リージェンシーホテルの日本人親善朝食会に出席しました。残念ながら、RI会長は、自国オーストラリアの朝食会で欠席となりました。次に朝食会場から徒歩10分ほどの所にある、受付会場のメトロ・トロントセンター北館へ移動。雨が降ってきて、地下道入り口が日曜でビルが閉まっており、皆さん濡らして申し訳ありませんでした。受付は大変広く、直ぐに資料・名札を入手できました。開会式の時間指定が午後の方が多かったので、一旦シャトルバスでホテルへ戻りました。昼食までの時間を使って散策。雨がひどく、ホテル地下より地下道を通して、近くのショッピングモールへ移動しました。冬の寒さの為、地下道が発達、総延長28kmはギネスブックに載っているそうです。その後、ホテル内のレストランでワールドカップサッカー日本対セネガル戦を見ながら昼食。昼食後再びシャトルバスでメトロ・トロントセンターへ。南館の友愛の家を見学。友愛の家から徒歩10分、開会式会場のエア・カナダセンターにて15:30からの開会式。35cm角以内のカバンしか持ち込めず、かつ金属探知機と荷物の中身チェック。空港なみに厳重でした。小生の仕事柄、警備の需要が有るなぁと感じました。会場のエア・カナダセンターは、プロアイスホッケーチームの本拠地。50年進出していないチームのプレーオフ決勝進出の可能性の為に、国際大会開催日が遅くなったのです。収容人数は約2万人。ちなみに今回の大会参加者は約2万5千人。まるでコンサート会場の様でした。会場真ん中に天井から特大4面モニター画面が釣り下がっており、ステージ上の映像を拡大しています。開会式はまず参加各国の国旗を掲げて順番にステージの上へ行進。そしてイアン・ライズリーRII会長の開会宣言。挨拶、講演の合間には、先住民のダンスパフォーマンスや、マジックショーなど、様々なステージがありました。次にオンタリオ州の副総督（英連邦）から、英国王室のアン王女の紹介



がありました。アン女王は、英国セーブザチルドレン総裁を1970年からつとめている縁で、ロータリークラブ名誉会員です。ポリオ撲滅活動への感謝を述べられました。次にRI会長のあいさつです。『年度方針は、「変化をもたらす」。世界がよくなるように、特に環境奉仕に注力してきた。自ら200ヶ所以上の場所へ行って、植樹をした。この感星を守ろう!』と訴えられました。その後、自身のご家族を紹介。奥様も地元ロータリーでガバナーをされているそうです。その夜19時より2760地区ガバナーナイトに出席。約200名が参加し、地区の国際大会登録者の人数より多かったそうです。神野ガバナー自らウクレレを演奏されたり、名駅RCのカエルの耳型カチューシャを頭に付けてのグロゲロ合唱団など大変盛り上がりました。食事も、サーモンとステーキが大変おいしかったです。



トロント2日目。この日はトロントからバスで2時間、名駅RCと一緒に、ナイアガラ観光のオプションツアーに参加しました。700名乗れる観光船で滝のすぐ下まで近づきました。ポンチョをもらい、かぶっているのですが、水しぶきで思いっきり濡れました。その後滝を見下ろすレストランで昼食後、ワイナリーへ移動して試飲しました。ここは寒い地域なので、凍ったブドウからつくる大変甘いアイスワインの名産地です。また、独立前の昔の州都の古い町



並を散策しました。この日最後はトロントへ戻って、湖畔の中華料理店で夕食をとりました。美味しかったです。ここで何と、昨年の年末家族会でダンスを踊って頂いたフレールRCのジャルガルさん達と再会しました。



翌朝、26日（火）6時すぎにホテルを出発、時差もあり27日（水）午後2時頃セントレア着。実質2日間の強行軍で、皆さん大変お疲れさまでした。振り返ると、日程の余裕と英語力がもう少し欲しかったと思います。今年度は50周年。参加されたことが無い方は、ドイツハンブルク国際大会に是非御参加ください。ご清聴ありがとうございました。

